

CASBEE[®]新潟 | 評価結果 |



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.3)

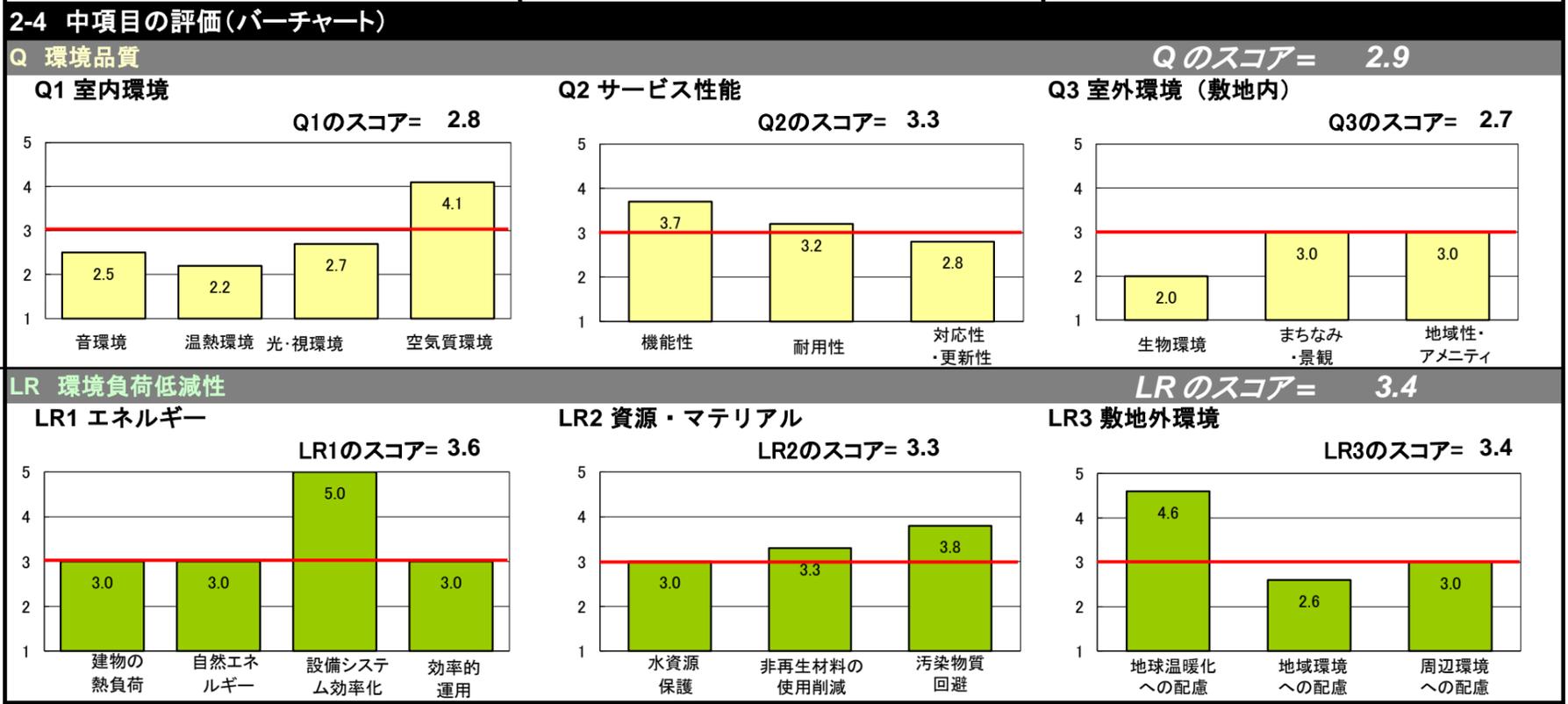
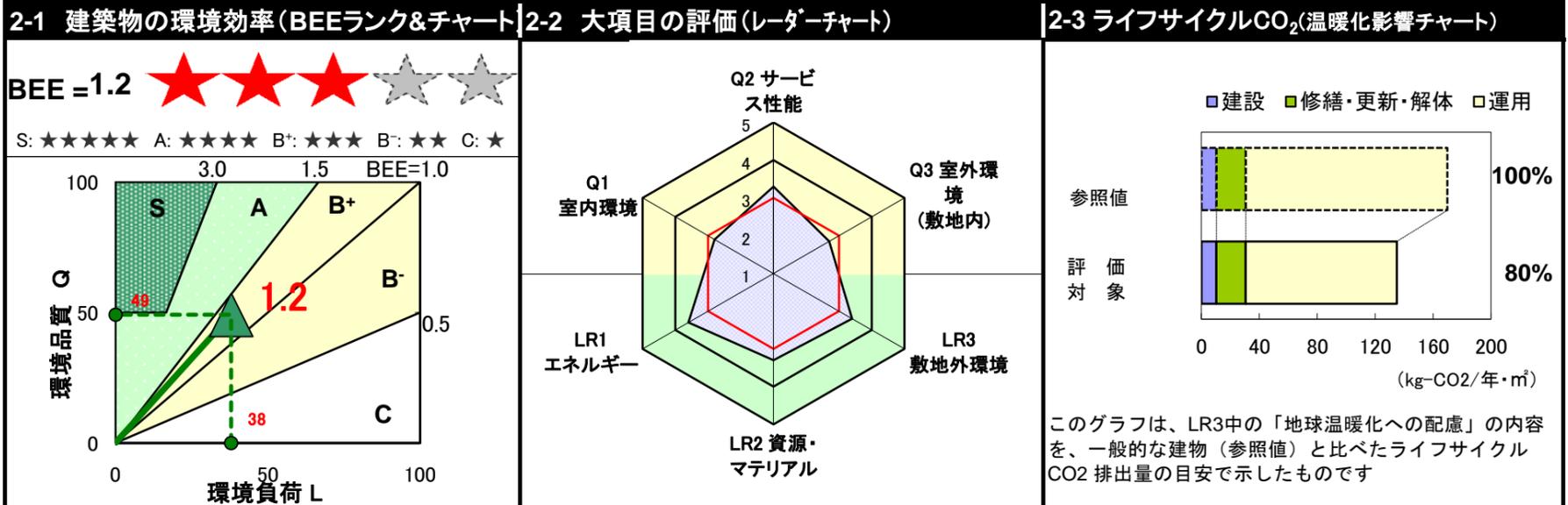
1. 建物概要					
建物名称	(仮称)藤見倶楽部				
建設地	東区 下木戸三丁目230番1				
用途地域	工業地域				
建物用途	病院				
竣工年	2013年12月 予定				
敷地面積	2,262.16 m ²				
建築面積	987.02 m ²				
延床面積	2,968.14 m ²				
階数	地上4F				
構造	S造				
評価の段階	実施設計段階評価				
評価の実施日	2013年3月22日				
2. CASBEE新潟の評価結果					
			B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{49}{38} = 1.2$	
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★					
3. 新潟市の重点項目の評価					
1. 長寿化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	平均スコア 3.5		バリアフリー	Q2.1.1.3	4.0
			維持管理	Q2.1.3	3.5
			更新性	Q2.3.3	3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	平均スコア 3.0		耐震・免震	Q2.2.1	3.0
			信頼性	Q2.2.4	3.0
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	平均スコア 3.0		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1	3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	平均スコア 3.0		建物の熱負荷抑制	LR1.1	3.0
			自然エネルギー利用	LR1.2	3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	平均スコア 3.7		節水	LR2.1.1	3.0
			リサイクル材の使用	LR2.2.4	4.0
			再利用可能性向上	LR2.2.6	4.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	平均スコア 2.5		生物環境の保全・創出	Q3.1	2.0
			敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2	3.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	平均スコア 3.0		まちなみ・景観への配慮	Q3.2	3.0
			地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1	3.0
4. 新潟市の重点項目の配慮事項					
効率の良い設備を使用し、またリサイクル資源の活用により環境負荷の低減を図る。 バリアフリーや維持管理のしやすい内装材により、入居者の生活の快適性に配慮する。					

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

CASBEE®新潟

評価結果内訳

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.3)



2-5 設計上の配慮事項

総合 省エネ性の高い機器の採用やリサイクル材の使用により環境負荷の低減に配慮した。また、入居者の室内環境に配慮し快適性の向上を図る。	その他 特になし
Q1 室内環境 建築基準法規制対象外となる建築材料を採用し、良好な空気室環境をつくる。開口部を大きくとり、採光、自然換気を十分確保できるように配慮した。	Q2 サービス性能 全個室で居室面積を13㎡以上程度を確保し、空間にゆとりをもたせる。また、共同生活室等の共有スペースにおいて室を細かく仕切らず連続性を持たせることで、家具配置や利用スタイルに自由度を与える計画とする。
LR1 エネルギー 共用部の空調設備は全てヒートポンプエアコン、居室は単独にルームエアコンを設置し、空調エリアを細く分けつことで省エネルギーを図れる空調設備とする。	LR2 資源・マテリアル 非構造材料でリサイクル材を採用し資源の保護に配慮する。
	Q3 室外環境 (敷地内) 駐停車に余裕のあるキャノピーを設け、利用者の快適性に配慮する。
	LR3 敷地外環境 効率の良い設備を採用し、CO ₂ 排出の低減を図る。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される